



第59回全国サイクリング大会 with 第51回東北サイクリングフェスティバル in 青森 参加報告

日程：2015年8月29日(土)

～30日(日)

参加者：356名(うち神奈川10名)

コース：全行程走行、遊覧(走行と十和田湖遊覧船)、観光(全行程バス)の3コース

上記大会が「あおもりグリーンライドサイクリングフェスタ」と銘打って開催されました。テーマは「木漏れ日あふれる奥入瀬溪流で緑の風と深呼吸」です。コースは、遊覧コースを申込みました。

初日受付場所、東北新幹線「七戸十和田」駅前8:15～ですが、当日出発では間に合わず前泊です。駅周辺の宿泊施設は少なく、十和田市内のビジネスホテルを予約しました。

大会前日、サイクリングジャパン誌の特集紹介記事を参考に七戸十和田駅から十和田市を目指します。大会スタート地点の「しちのへ秋まつり山車展示館」を見学、昼食の後、20分ほどして、ジェラート NAMIKI でジャージー牛の新鮮なミルクで作ったジェラートを、農耕用機械を見ながら頂きました。美味しい。十和田市まではアップダウンが続き、二時間半ほどかかりました。明朝、会場まで走るのは無理と判断し、バス移動と決め時刻を確認。明日の大会コースにある、十和田現代

美術館を一足先に見学しました。展示室最初の「スタンディングウーマン」の巨大な彫刻は写真で見たことはあるが圧倒されます。中のカフェでアップルパイを頂きました。夕食はB-1 グランプリ受賞「十和田バラ焼き」。玉ねぎとバラ牛肉をリンゴ果汁などが入ったタレで焼きながら、焼酎とともに賞味しました。

大会初日、スタート地点で受付後、出走式。十和田神社神主さんの安全のお祓いを受け、10数人ずつの写真撮影後出発。大勢が一度にスタートしないよう良いアイデアでした。旧南部縦貫鉄道レールバス展示場を見て、車の少ない田んぼや、ソバ畑を通る道を通ります。コース途中には立哨スタッフ、また一緒に走る同行スタッフもあり、迷うようなことはありません。保育園の子供たちの声援もありました。

十和田現代美術館はショートカットし昼食会場の「駒っこランド」に向かいます。急な坂道を登って、お弁当と特設調理台での焼きたて「十和田バラ焼き」です。

馬の文化資料館「称徳館」を見学後、奥入瀬溪流に向かいます。溪流入口で休憩、ミニトマト、飲物を頂きます。ここから奥入瀬溪流の登りが始まります。澄んだ水

は周囲の緑や岩と溶け合い、くもり気味だった天気も晴れて、まさしく大会テーマの木漏れ日です。溪流の登り所要時間が読めず、十和田湖遊覧船乗り場「子ノ口」の出発時間に間に合わせるよう、最後はスパートとなりました。遊覧船で約1時間、湖と木々や岩が作り出す絶景を堪能し、「休み屋」で下船、ホテルへ向かいます。

6時半からの開会式、交歓会では、チャグチャグ馬っ子、津軽あいや節などのアトラクションで賑やかに時間が過ぎていきます。参加協会 PR タイムとして、来年の開催地・網走の熱のこもった紹介もされました。

2日目朝食後、閉会式で JCA 加藤会長代行の講評、同行スタッフの福島工専サイクリング部の紹介などあってから解散。最後のランを楽しむべく十和田湖・乙女の像、十和田神社を経て、奥入瀬溪流を今度は下りで、ゆったりと眺め、焼山まで走ります。同所からバスで七戸十和田駅に向かい、一度は行きたかった奥入瀬溪流の旅を終えました。

KCA 副理事長 平野 肇



溪流入口休憩風景

横浜カーフリーデー &モビリティウィーク 2015 出展報告

日時：2015年9月22日（火・祝）

10:30 - 16:00

場所：横浜公園、日本大通り

これは「街中ではマイカーから解放され、公共交通、自転車、徒歩で出かける日」として世界2000以上の都市で同時開催されるイベントです。出展はKCAとして3年連続となります。

快晴に恵まれ連休の中日ということもあり、家族連れを中心に多くの参加者がありました。全世界共通テーマ”Choose, Change, Combine”（選んで、変えて、組み合わせよう 賢い移動）のもと参加各団体が49のブースを展開しました。

今年は「自転車の安心・安全な利用」が横浜でのテーマになっていることからKCAブースにも注目が集まります。

担当者は朝8時15分に出展場所の県庁前集合、設営に当たりました。民間団体主体のイベントですので出展未経験の方も多く、主催者要請もあり、隣接出展団体の設営にも協力して開催に間に合えます。

KCAブースではテント脇にローラー台3基、段ボール箱を組んでパンク修理プレゼンテーションタワーとパネル展示が出来上がり、スタンプラリーのポイントを示す旗をたて、担当者各自持込展示の自転車に自画自賛カードを取り付ければ設営完了です。手作りイベントの面目躍如というところです。



人気のKCAブース

10:30から横浜公園水のステージで開会式。神奈川県副知事、横浜市副市長、中区区長、県議員等々からご挨拶。子供のダンス団体演技と横浜市交通局の「はまりん」君、赤帽組合の「あかぼうくん」などが開会式を盛り上げました。

KCAブースがスタンプラリーポイントとなったことの集客効果は絶大で、来場者が続々と訪れます。来場者の9割は小学生以下の子供連れのご家族。子供の興味を引くために、担当者はゆるキャラ並みに派手なサイクルジャージを着込んで、ローラー台でデモンストレーションをしながら声掛けを続けます。子供が乗ってみたいとせがんで親御さんが立ち止まるというかたちで、ローラー台の客引き効果が発揮できました。子供の足が届けばヘルメットも貸してあげて乗ってもらい、親御さんに写真に収めていただくのが定番です。惜しむらくは小学校低学年の子供が乗れる自転車をローラー台に用意できなかったことで、諦めてもらう子供も多かったのです。

今年は歩行者通路確保を主催者に要請されたので、場所の制約からパンク修理実演は、当初予定した定時公演に至らず要求ベースで行いました。にもかかわらず、ローラー台試乗から話が進ん



自賛カードで興味を喚起

で何度も実施することになりました。自転車競技のテレビアニメに興味を持ったという女性のローラー台試乗も続出し、興が乗ってJCAの自転車準備体操まで披露いたしました。

一方では中高年齢者中心に展示している各種折り畳み自転車への質問が相次ぎ、持ち主の担当者は効能説明と折り畳み実演で何度も呼ばれ昼食もままなりません。簡単に畳めて引いて運べるところを示すと驚嘆の声が上がりました。

KCAはパンフレット「ご存知ですか？正しい自転車のルール」、同「自転車に乗って健康になろう」、同「県観光協会(かながわ屋)」を数多く用意しました。また「バイコロジー」啓発ティッシュも多数持参しました。これらは来場者から興味のありそうな方を選んで丁寧に渡していたのですが、午後のパレードが終わるころにはすっかり捌けてしまいました。

主催者発表で総来場者数は20,000人、KCAブース来場者は1,000人以上という盛況でした。ローラー台デモンストレーションで走り続けてサイクリング大会並みに心地よい汗をかいた一日でした。注)バイコロジーは、自転車が安全かつ快適に利用できる環境をつくることを目指します。KCA理事 橋立 公正

2015KCA 秋季サイクリング大会 ふたたび KCA のんびりサイクリング 開催報告

開催日：2015年10月25日(日)

参加者：30名

コース：井田公園～矢上川沿い
～野川～宮崎台駅～東
高根森林公園～2ルート
に分かれる～生田緑地

雨で中止しました「のんびりサイクリング」の内容を秋季サイクリング大会としてふたたび開催致しました。当日は快晴でしたが前夜から続く強い風の中、参加者は受付開始前より続々と集まり、定刻の10時にはほぼ全員受付を終えました。

最初に集合場所の井田公園で日差しを浴びながら集合写真撮影を行いました。今回KCA協会旗は「2015 関東甲信越サイクリングラリー東京大会 in 伊豆大島」での使用のため送っているのですが、手作りの旗を使用しています。そして協会挨拶後スタート致しました。

なお企画担当の浅見は自宅より走行してくる途中で体調不調に陥り、このスタート地点で皆様を見送り、未到着の方を待ち、確認後リタイヤ致しました。残念無念です。夕刻自宅にて無事終了の連絡を受け、ホッとするとともに小生も皆様とご一緒に走行させていただいた思いを持ってました。サイクリング詳細は以下に新山理事にバトンタッチ致します。

KCA 理事 浅見 仁信



井田公園にて

スタート後まずは先行と後続の2グループに分かれて矢上川に沿って走りました。途中、人形劇団のひとみ座(NHK「ひょっこりひょうたん島」などで知られる劇団)の建物を左手に見て進みました。JR 貨物ターミナルの登り坂を越えて、馬絹神社や古墳のある馬絹を右方向へ。

宮崎台駅の「電車とバスの博物館」は残念ながら休館中です。来年の1月か2月ごろリニューアルオープンの予定です。駅近くのライフスーパーストアの駐輪場に自転車を置き、昼食用の弁当購入、トイレなどで小休止してから出発しました。

東高根森林公園のビジターセンターから北口への道は心臓破りの登り坂。ほとんどの人が自転車を押しながら登ったようですが、中には一気に頂上まで駆け登った人がいました。驚きました。KCAには凄い人がいます。園内には県指定天然記念物のシラカシ林や県指定史跡の東高根遺跡があります。皆様には森林浴または開放的な芝生での昼食を楽しんでいただきました。

生田緑地ばら苑へは表門と裏門の二手に分かれて入苑するこ

とになりました。表門グループは二ヶ領用水の脇道から藤子・F・不二雄ミュージアム前に出て表門から入苑。裏門グループはばら苑の奥の門から入苑しました。ばらは今頃が良い時期で、5月のばらより10月のばらが素敵という人もいます。周囲を山に囲まれて風もなく、暖かく、ゆっくり鑑賞できたのではないかと思います。開苑当初の1958年頃は「東洋一のばら苑」と賞せられ、今もその雰囲気を残しています。

参加者の中には遠方からの方もあり、ここで解散したほうが良いとして、予定と同じ生田緑地内ということで解散、各自ご帰宅となりました。多数のご参加、ご協力を得て無事終了できました。誠にありがとうございました。 KCA 理事 新山 博

速報!! 「2015 関東甲信越サイクリングラリー東京大会 in 伊豆大島」

2015年10月31日(土)～11月2日(月)、関東甲信越サイクリング協議会主催、東京サイクリング協会(TCA)主管にて伊豆大島に於いて開催されました。

参加者は約90名です。群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、新潟、福島、三重など一般参加の方々も含め幅広い地域からのご参加をいただきました。うち神奈川からは25名の参加です。TCAの皆様の尽力により、事故なく安全に終了しました。式典では、来年はKCAが主管して横浜を開催地とすることを宣言しました。大会詳細は次号をお楽しみに。

「ザ・ビッグラン神奈川 2015」と「チャレンジ神奈川 2015」は終了しました

実施期間:2015年4月18日～10月25日。報告書提出期限:2015年10月31日。参加者:21名。

【ザ・ビッグラン神奈川 2015 「神奈川県役所・役場を巡ってみませんか!」は終了となりました。期間中に既定の条件に従って走行し、所定の期日までに課題地を訪れた報告書を提出された参加者には、めでたく完走賞と記念品を差し上げます。表彰式は、2016年1月17日(日)開催の「KCA 初詣サイクリング」の際に行います。

同日に KCA 企画【チャレンジ神奈川 2015「神奈川の城址を訪ねて!」の完走者表彰もごさいます。各部門に該当される会員さんは、表彰をお楽しみにお願いいたします。

2015年「年忘れサイクリング」見送りのお詫び

本年度 KCA 年間活動計画にある「年忘れサイクリング&反省会」は開催見送りとさせていただきます。12月に一泊二日の行程で横浜港周辺地区での開催を予定していましたが、会場の選定で行き違いがありました。受け入れ側も誠意を尽くして下さったうえで、開催要件をめくりやむを得ず不成立となりました。

「年忘れ」行く年は、「初詣」来る年の展望に代えて開催させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

「2016年初詣サイクリング」開催します

新春を寿ぎ、新しい一年の交通安全を祈願する、恒例の「初詣サイクリング」を開催します。

記

- 開催日:2016年1月17日(日)
- 受付と賀詞交歓会会場:「大通り公園」横浜橋交番前
横浜市中区弥生町3-35-5
- 受付時間 10:00~10:30
以降は表彰式、賀詞交歓会となります
- 参 拜:「金刀比羅大鷲神社」
(ことひらおとりじんじゃ)
横浜市西区真金町1丁目、横浜橋交番より約200m

駐輪は、大通り公園の賀詞交歓会会場にお願いします。盗難防止用の鍵を持参してください。

当日は、ビッグラン完走賞、チャレンジ完走賞など昨年成果の表彰も合わせて行います。皆さまお誘いあわせのうえご参加よろしくお願いいたします。

詳細は、KCA ニュース今号に同封した開催要項、KCA ホームページをご覧ください。以上

「関東甲信越」第1回準備委員会開催のお知らせ

KCA が来年に主管する「関東甲信越ブロックサイクリング大会 2016 in 横浜」のボランティアスタッフ第1回準備委員会を下記により開催いたします。

記

- 開催日時:2016年1月24日(日)
13:30~15:30
- 会 場:「かながわ県民センター」3階301会議室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 横浜駅きた西口より徒歩約5分)
- 会議内容:開催概要、スタッフ業務の種類と必要人数、各業務内容など

ボランティアスタッフには、50名超のお申し込みをいただきました。厚くお礼申し上げます。つきましては、上記日程の会議にご出席くださいますようご連絡申し上げます。詳細はお申込み者に同封した開催要項をご覧ください。また KCA ホームページにも同じく掲載しますのでよろしくお願いいたします。以上

※KCA ホームページは「神奈川県サイクリング協会」で検索 <http://web-kca.com/info.html>

編集後記

「KCA News No.104」をお届けします。本号が会員の皆さまのお手元に届くころは、師走ご多忙の最中かもしれません。本号がこの1年の走りを振り返り、来年のより一層楽しい走りを目指す準備と計画にとりかかるきっかけになれば喜びであります。

来年には「関東甲信越ブロックサイクリング大会 2016 in 横浜」という10年振りの大イベントを迎えます。これまで各地方協会が主管する大会を各地で楽しませていただきました。この経験を基にして参加者も、お迎えする私たちも、誰もが楽しめる大会を作り上げていきたいと存じます。